

島根県邑南町の旧石見町矢上地区には、田植えを手伝う優しい山姥の伝説がある。その山姥がすむ洞窟が原山(888・3m)の中腹にあるという。於保知盆地(矢上盆地)の南端にそびえ立つ山だ。

アプローチは、浜田自動車道瑞穂インターチェンジから北に向かい、県道327号(市木井原線)の原山トンネルを越えて1・2km。香木の森公園入



ちゅうごく 山歩き 松島 宏

原山

=島根県邑南町



北麓の集落から望む原山

りの交差点を左折して、県道7号(浜田作木線)に合流すると、起点の「峠ノ原バス停」だ。原山の懸かる車でここから南に1km進んで林道三差路へ。東200mに仮設トイレ3基を備えた登山口がある。

標高505mの登山口から林道を東に進むと山姥洞窟の案内板がある。ここから尾根を登る。傾斜はきつくなり、岩が目立つようになる。標高650m

標高715mに山姥の洞窟がある。一人がやっと入れる大きさで、奥行きが数m。風穴で下から冷気が湧き上がりてくる。さらに尾根を登り、標高830mの電波塔に出る。ここは眺望がよく、於保知盆地や石見冠山、京太郎山などが望める。

尾根を南に向かい、分岐を左に進むと、原山手前のピーグ。直径4mの穴は第2次世界大戦時の原山監視所監視塔の跡だ。敵機襲来に備えていたといふ。下りた鞍部は、コンクリートの台座が残り、監視所の跡。その先を登ると頂上だ。樹林に覆われ、眺望はないが、樹間から阿佐山山群が見える。下山は往路を引き返すのがお薦めだが、急傾斜を避けるには、頂上近くの分岐を西に曲がった林道から、最初の林道三差路の100m西に下山できる。下山後は、香木の森公園「いわみ温泉霧の湯」で汗を流そう。所要時間2時間30分。

(広島登山研究所代表=広島市)

中腹に山姥伝説の洞窟

の鞍部の西側の谷は岩海状に巨岩が折り重なっている。アカマツ、コナラなどの天然林が素晴らしい。標高690mで谷を横断し、巨岩の下を固定ロープを頼りに登っていく。

標高715mに山姥の洞窟がある。

人一人がやっと入れる大きさで、奥行きが数m。風穴で下から冷気が湧き上がりてくる。さらに尾根を登り、標高830mの電波塔に出る。ここは眺望がよく、於保知盆地や石見冠山、京太郎山などが望める。